

葦の家後援会たより

2015年3月号

発行 葦の家後援会 発行日 2015.3.24
〒814-0153 福岡市城南区樋井川 4-1-17
Tel・Fax 092-866-4842
E-mail asinoie@blue.ocn.ne.jp
HP <http://www.ashi.sakura.ne.jp/>



第3次中期計画のスタートを前にして…

葦の家後援会 会長 坂本良二

コブシの花が街角に見られるようになりました。春は着実にやってきているのですね。今年度も早いもので残すところわずかとなりました。この一年の皆様方のご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。おかげさまで、「すてっぴ」用の車椅子移動車も購入できました。また、ふれあいバザーにもぎわうことができ、目標の売り上げにも届き次のグループホーム建設への資金として寄付いたしました。ありがとうございました。

さて、来年度は第3次中期計画がスタートします。その第1弾がグループホーム2号館です。その中には、快適で安全・安心な仲間たちの暮らせる場はもとより、地域交流を目指した多目的ホールも盛り込み、後援会の事務機能もできるようにと計画されています。しかし、非常にうれしい反面、困ったことも出てきました。それは、建設予定地にある後援会活動の拠点、スマイルハウスが失われることです。ですから、建設期間中の物販等の事務スペースやバザー用品の収納場所、保護者の駐車場などの確保が必要になってきました。でも、きっと今までのように、みんなの力とアイデアが集まって、何とか乗り越えて行きたいと思っています。どうぞこれから皆様にも、急なお願い等があるかもしれませんが、その時はそれぞれのできるだけの範囲でできるだけのことをお手伝いいただけないかとお願いする次第です。

ところで皆さんは、これからの葦の家がどのような方向に重点を置いた計画を打ち出すか、興味はありませんか？次年度の総会の折には、中期計画の詳細も説明できるように準備いたしますが、概略を今回別紙にてお示ししていますので、何かお気づきの点やご意見・ご要望等がございましたらお知らせください。後援会員の声もぜひ、計画に反映してもらおうと思っています。振り返れば葦の家は、来年度で作業所時代から数えて30周年です。皆様方のお力とともに歩んできた葦の家ですので、ぜひご遠慮なくご意見等をお寄せください。お待ちしております。

葦の家後援会は、これからも末永く、仲間たちの地域での暮らしのために、みんなの知恵と力を結集していきたいと考えます。これからもどうぞよろしくご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。

(写真：ふれあいバザーの様子)



ふれあいバザーのご報告

2月21日(土)に葦の家の第2のグループホーム建設資金集めを目的として開催しました。日用品バザーや詰め込み市の他、もちつきを行ない、来場先着50名の方にふるまい餅を配らせていただきました。

肌寒く、途中から雨が降ったりもしましたが、たくさんのボランティアの方にも支えられ、無事終わることが出来ました。

後援会の他にも、仲間たちの出店や“グループホームを作る会”の出店もあり、地域の皆さんとふれあえる機会となりました。

バザー品を提供して頂いた方、バザー当日にボランティアでお手伝い頂いた方、バザー品をご購入いただいた方々、ありがとうございました。

目標は100,000円でしたが、売り上げは、日用品バザー、詰め込み市を合わせて、100,245円でした！

仲間たちの出店も12,220円の売り上げがありました



冬季物品販売にご協力、ありがとうございました

今季も物品販売が終了し、売り上げが5,800,000円余り、うち収益が680,000円以上となり、収益は全額葦の家に寄付させていただきました。

おかげさまで、夏季・冬季の収益金の寄付により、目標であったグループホームすてっぴの車いす対応車両の購入が出来ることになりました。

これまで、グループホームに暮らす仲間の急な通院や悪天候下での外出が難しい状況でしたが、車両の購入により、仲間の地域生活が、より安全で充実したものになることと期待しています。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



葦の家福祉会第3次中期事業計画

3月14日の理事会、評議員会で第3次中期事業計画が承認されました。計画の実施期間は2015年から2019年度までの5年間です。利用者アンケート、福岡市の実態調査、先進事業所の視察情報、国や市の精度情報などをもとにして、別添の計画を策定しました。

今回の計画では、居住の場、作業支援、児童支援、相談支援の充実に加えて、訪問看護や福祉有償運送事業などのきめ細かな在宅サービスも整備します。今回の利用者アンケートでも、現在、将来にわたる在宅生活の不安や悩みがたくさん寄せられました。ただ、今後はグループホームの取組みに象徴されるように、家族の有無や状況に関係なく、少しでもご本人の個性や力が発揮され、地域で人間らしいふつうの生活が実現できるような支援や事業展開をめざします。計画策定にあたっては、地域や家族、ボランティアも交え、4つの専門部会と職員部会に分かれ延べ30回以上の協議を重ね、全国20カ所の事業所を視察し、先進的な取組みを学びました。事業所内でも、リーダー、中堅職員などの職員間で将来構想が議論され、～みんなで暮らせる！地域を作る！～という計画テーマに加えて、“みんなで作ろう！たくさんの『る』”というコンセプトとマップ図が作成されました。今後5年間、本報告書にまとめられた内容を利用者を中心に、職員、ご家族、地域やボランティア、関係者が手をつなぎ合って実現させ、みんなの明るい未来につなげたいと願っています。計画の実現に向けご支援、ご協力をお願いいたします。

(法人本部長 友廣道雄)



平成26年度法人実践発表会を終えて

平成27年2月15日(日)、葦の家食堂を会場として法人実践発表会を実施しました。参加者は、来賓、保護者を含め93名を超えました。今年度は、出来上がった原稿を業者に依頼して製本するなど少しずつ発表会の充実に向けた取組が進んだところです。その中でも葦の家では、11月27日(木)に、公開支援研究日を設定し、地域、保護者の方に日頃の実践を見ていただくと同時に支援に対する中間報告をさせていただくことができました。その際にいただいた様々なご意見を参考にしながら



最終発表の場である法人実践発表会に臨んだところです。発表会では、各事業所からの実践研究発表を行い、その後「これからの福祉その展望と課題」をテーマにシンポジウムと総括討論をいたしました。シンポジストに、めおといわ「ゆい」施設長の党一浩氏、おほり苑施設長の岩見景子氏、工房まる施設長の吉田修一氏、ヘルパーステーションほっとほっと管理者の豊村佳代子氏の4名をお迎えしてシンポジウム、総括討論をいたしました。城南区社会福祉協議会会長の山口繁実氏よりのご意見も伺いながら人と人をつなぐ役割、つながる人と人との関係性をつくるのが福祉の役割であるといった意見が出て、有意義な総括討論になりました。ご参加いただきました皆様に心からお礼を申し上げますとともに、今後も地域とのつながりを大切にしながら、仲間(利用者)の生活の質を高めていくことができる実践を高めて参りますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(葦の家管理者 小関正利)

山浦時男さんを偲ぶ会

2月14日(土)、ふくふくホールで、約150名の方々が参列され故・山浦時男副理事長を偲ぶ会が執り行われ、ありし日のお写真の紹介やなじみ深い方々より、山浦さんの思い出が語られました。就学猶予時代の母子通園事業の発案、あいあいセンターや障がい児通園施設の整備、療育センター構想など福岡市の療育事業の基礎を山浦さんが大変なご苦勞をされて築かれたこと。重度重複障害児者の無認可作業所から認可施設建設へのご尽力。常に弱い立場の人たちの視点に立った心と志ある行政マンの在り方など、次世代の福祉に対するメッセージとして参列者の記憶に残る会となりました。

3月14日理事会、評議員会で新理事、評議員が選任されました。

理事 池上洋一さん(葦の家利用者家族)

評議員 秋根 喬さん(秋根喬司法書士事務所所長)

★会員更新のお知らせ★

～ 入会のお願い ～

会員の更新の時期がやってまいりました！後援会でやっている様々な活動は皆さまから頂いている会費によって賄われています。ぜひ更新をお願いいたします。更新手続きは、同封の申込用紙にご記入の上、お振込みをお願いします。

会員拡大のため、新規ご入会の方も大歓迎です。ご近所の方やお知り合いの方にもご案内頂けると嬉しいです。よろしくをお願いします。

- ・年会費(一口) 個人2000円(障がいがある方は1000円) 学生500円 団体…5000円
- ・振込先(郵便振替) 01710-2-16282 (通信欄に年会費とご記入下さい)

アンケートご協力をお願い

「葦の家福祉会第三次中期計画と今後の後援会活動について」のご意見、ご要望を広く会員の皆様から募りたいと思います。同封のアンケート用紙にご記入の上、後援会事務局までファックスまたは郵送にてご返信下さい。

季節の花



「菜の花」

春になると土手を埋め尽くす黄色い絨毯。

その一つひとつはとても小さい花。

小さな力も仲間を集め、手を取り合い、しっかりと繋がっていくことで、誰をも圧倒する巨大な力となり得る。

青い空に黄色と緑の大地。

切り絵 青木明憲